

はたやま 「幡多山もりフェス 2018」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 高知水源林整備事務所

高知水源林整備事務所は、平成 30 年 10 月 28 日（日）に高知県四万十市の四万十川河川敷にて開催された「幡多山もりフェス 2018」に参加しました。

幡多地域の森林組合が主体となり設立した実行委員会が運営する本イベントは今年で 6 回目を迎え、今回は『学べる 遊べる 山もりフェス』というテーマで開催されました。当日は晴天に恵まれ、林業関係の団体や企業、学校が出展した会場は約 4,000 名の来場者で賑わいました。

第 1 回から出展している当事務所のブースでは、水源林造成事業の PR のためのパネルや水源林造成事業地の写真展示、水源林造成事業紹介 DVD の上映、パンフレットの配布を行うとともに、高知水源林育成士と合同で各種企画を催し、緑の募金へのご協力をお願いしました。

昨年も好評だった「松ぼっくりのクリスマスツリー作り」は今回も盛況を博することができ、スラッシュマツの大きな松ぼっくり（森林総合研究所四国支所提供）を使って、立派なクリスマスツリーが出来上がりました。「林業コスプレ」では、主にお子さんに林内作業コスチュームを身に付けていただき写真撮影を行い、家族連れの方々に好評でした。「木の漢字当てクイズ」は毎年恒例ですが、今年は正解された問題の難易度に依りて賞状をお渡しして、より楽しんでいただくことができたように思います。

布製のバッグに絵を描いてもらう「オリジナルエコバッグ作り」も、多くの方にご参加いただきました。

また、メインステージでは、高知水源林育成士と協力して森林を題材とした紙芝居を上演しました。森林の持つ機能や森づくりの大切さを伝える内容でしたが、たくさん集まってくれた子供たちは夢中で見入っている様子でした。

今年もブースには大人から子供まで幅広い世代の方々にご参加いただき、今後も出展を通じて水源林造成事業への親しみや理解をより深めてもらうことができると感じました。

高知水源林整備事務所では、水源林造成事業の意義や重要性を広く知っていただくため、今後も地域のイベントへの参加に積極的に取り組んでまいります。



松ぼっくりのクリスマスツリー作り



林業コスプレ



木の漢字当てクイズ



オリジナルエコバッグ作り



紙芝居